

吉岡進の釣りを楽しく感じるままに 相模湾の
E2F
 Enjoy Every Fishing no.08

▲釣り場は平塚沖の水深75
 ~100メートル前後

相模湾の
 タチウオに
 初チャレンジ!

★テンヤ釣法を中
 心に相模湾のタチ
 ウオを楽しんだ

撮影◎本誌編集部



Profile◆よしおかすむ
 1982年生まれ。ヨッシーの愛
 称で親しまれている。一つテ
 ンヤマダイ、ライト系オフショ
 アルアーを得意とする。ジャッ
 カルソルトプロスタッフ、シー
 ガーインストラクター。

◆本編(62ページより)は高橋剛
 が執筆。船釣りの楽しさをヨッシー
 ーとともにお伝えします!

フオールで
 食ってきた!

▲当日のタチウオ船は2隻出しと盛況
 ◀相模湾の初タチウオはジギングで釣り上げた

▲指幅2.5~3本級のタチウオがメイン
 ◀ジグは120~160グラムを使う

★160グラムのジグ
 をフオールさせると食
 ってきた

ヨッシーこと吉岡進がルアー釣りを
 中心に色いろな釣り物を狙い、毎回釣
 りの楽しさを伝えていく「Enjoy
 Every Fishing(略して
 E2F)」。第8回はジギングとテンヤ
 で狙う相模湾のタチウオ。ヨッシーも
 当地のタチウオ釣りは初挑戦となる。
 釣れるタチウオは目下のところ指幅
 2.5~4本級を主体にトップ20~30本前
 後、新しい群れが入ってくると指幅5
 ~7本級の大型も
 交じるといふ。
 10月下旬に釣行
 したのは相模湾平
 塚の庄治郎丸。
 タチウオ船はテン
 ビン仕掛けのエサ
 釣りやテンヤタチ
 ウオ、ルアー釣り
 のジギングなど自
 由に楽しむことが
 できる。

ジギングの釣り方
 ワンピッチ
 ジャーク

●まずはアタリを
 出すためにアナウ
 ンスされる指示ダ
 ナを中心に上下5
 メートルの範囲を
 ワンピッチジャーク
 で探る。アタリが出
 るタナが分かっ
 たら、フオールを織
 り交ぜて集中的に探
 っていく。



▲ジギングでサワラがヒット



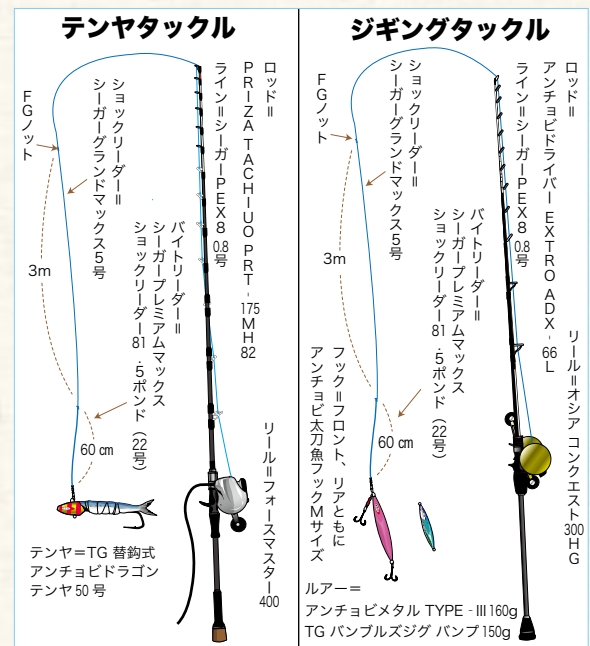
1本目は
 ジギングで!



Enjoy Every Fishing Tackle & Lure guide

ヨッシーのタチウオタックル

●ジギング用はジグがあまり飛び跳ねないよう、できるだけしなやかな「アンチョビ ドライバー エクストロADX-66L」をチョイス。テンヤ用は8:2調子のテンヤ専用「ブライザ タチウオ PRT-175MH82」。タチウオを掛けるとベリーからバットまでスムーズに曲がり、テンションが抜けにくくバラシを軽減する。



メタルジグ

◀沈みの速いリアバランスのジグ「TG パンブルズジグ バンプ」でタチウオのいるタナを探り、食いダナが分かったらフォールに特化した「アンチョビメタルTYPE-II」で集中して狙う



タチウオテンヤ

◀タングステン製のテンヤは同サイズの鉛製に比べて小さく、抵抗が小さいので速く沈む。50号を用意しておく

▽相模湾のタチウオは素直に食ってきてアタリも明確に出る。テンヤで20本のタチウオをキャッチ



●テンピンとテンヤの2タックル持参し、両方の釣りを試しながら釣る方が多い



●テンヤで釣れるサイズも指幅2.5~3本級が主体



▲大中小サイズのイワシを持ち込んで色いろ試してみたが当日は大きなエサのほうが食いがよかった。テンヤは50号を使用
 ◀テンピン仕掛けはオモリ50号で道糸はPE2号以下



▲▼やけにお腹がブクブクしてると思ったらカマスが丸ごと入っていた

◀連続でバラしたあとの1本は格別

船宿インフォメーション information

相模湾平塚港 庄治郎丸

☎0463-21-1312 (詳細は巻末の情報欄参照)
 ●庄治郎丸のタチウオ船はテンピン、テンヤ、ジギングが同船して楽しめるだけでなく、ジギングからテンヤなど途中で釣り方を変更してもOKなので色いろな釣法を試すことができる。タチウオ船は3年前にポイントを開拓してからスタート。東京湾や駿河湾へ行かずにタチウオ釣りが楽しめるため、とくに地元の釣り客に人気がある。
 ●料金=タチウオ乗合一人1万500円(サバの切り身付き)
 ●備考=予約乗合、6時半時出船。アマダイ、ライト五目へも出船



▲第六庄治郎丸に乗船



▲エサ釣りやルアーなど自由に楽しむことができる
 ▼大堀耕史船長(写真左)



How to attach fishing bait

エサ巻きの手順

- 1 ◀テンヤの大きさに合わせてイワシをカット
- 2 ◀少しサイドにずらして腹部をカット
- 3 ◀内臓は残したままテンヤのハリ軸にイワシを真っすぐ乗せる
- 4 ◀頭からステン線を巻いていく
- 5 ◀尻尾付近まできれいに巻いて完成



テンヤタチウオも楽しいね

●当日はジギングとテンヤの両方を試し、アタリの多かったテンヤをメインに楽しんだ

●テンヤタチウオで反応がよかったのが前半はハンドル8分の1回転で1シャクリするショートピッチジャーク、後半は「巻き速度4」の電動デッドスロー巻きでのバイブレーション釣法。



テンヤの釣り方 ショートピッチジャーク & バイブレーション釣法

大堀耕史船長が向かったのは港から10分ほどの相模川河口前で、水深75~100メートル前後。タナは底付近から宙層まで幅広いが、その都度反応が濃く出ている範囲をアナウンスしてくれる。
 ヨッシーはジギングから始めると、フォールのアタリをとらえてロッドを曲げて、指幅3本級を取り込んだ。続いてテンヤタックルに持ち替えるとアベレージサイズのタチウオを立て続けに上げ、さらに指幅4本級も釣り上げてサイズアップに成功。
 その後もヒットパターンをつかみ、タチウオを連続するヨッシー。詳しくは62ページからの本編にて!